

沖縄プロ野球キャンプ見学を強力にサポート！！
沖縄プロ野球キャンプ見学情報サイト『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 2017』
ティザーサイト公開（<http://okinawabaseball.com>）

2017 年 1 月 6 日「ティザーサイト公開」、同 1 月 27 日（予定）「本サイト公開」



沖縄県は、2017年2月1日（水）～2月28日（火）の沖縄プロ野球キャンプシーズン到来に伴い、来沖するプロ野球ファン、県内野球ファン、一般観光客にプロ野球キャンプ見学に役立つ情報を発信する沖縄プロ野球キャンプ見学情報サイト『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 2017』のティザーサイト(<http://okinawabaseball.com/>)を1月6日（金）に公開しました。なお、本サイトは、2017年1月27日（金）に公開いたします。

本年、沖縄県では、過去最多の国内9球団、韓国6球団の計15球団がキャンプを行う予定で、全県的にプロ野球キャンプ歓迎ムードが日に日に高まっています。なお、2016年プロ野球春季キャンプ期間中の観客数は、約33万2,000人（オープン戦含む）で過去最高となり、その内、県外からの観客は6万6,000人と推測されています（※りゅうぎん総合研究所キャンブレポートより／参考資料参照）。

沖縄県内（本島、久米島、石垣島）の各地で行われるプロ野球キャンプ見学を楽しむには、万全な情報収集が鍵を握ります。沖縄プロ野球キャンプ見学情報サイト『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 2017』では、FacebookページやTwitterとも連携し、各球団の練習メニュー、スケジュールの公開、球団・選手にまつわる情報や、各キャンプ地周辺情報など、さまざまなお役立ち情報を随時配信してキャンプ見学を強力にサポートします。

また、プロ野球キャンプ期間中は、沖縄県内の飲食店等とタイアップし、『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 2017』オリジナルメニューの提供、プロ野球OB選手のトークショー開催、各球団キャンプ情報や野球コンテンツを集めた情報発信基地『野球基地』を設置します。首都圏でも、沖縄プロ野球キャンプの情報や沖縄産品メニューを提供する『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 首都圏応援店』（後日公開）を設置する等、プロ野球界を支える関係者達とともに、沖縄プロ野球キャンプシーズン到来の機運を醸成します。

沖縄県では、これらのほかにも、ベースボール・マガジン社の協力による「プロ野球沖縄キャンプガイドブック（仮称）」制作/配布、那覇空港や国際通りでのシティドレッシング（※）による機運醸成を図るなど、さまざまな仕掛けでプロ野球キャンプを盛り上げることで、沖縄県への観光誘客の強化を目指します。

※シティドレッシング：大規模イベントのPRなどのために、大型ポスターやバナー等で街中を飾り立てること。

【本件に対する一般の方からのお問合せ先】

『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 2017』運営事務局（株式会社JTB沖縄内）
TEL：098-860-4738、E-mail：sports-prm@okw.jtb.jp

【本件に対する報道関係者からのお問合せ先】

『BASEBALL CAMP IN OKINAWA 2017』PR事務局（ストライク&パートナーズLLC.内）担当：大津
TEL：070-5075-3230、E-mail：strikehotsu@gmail.com

■参考資料／沖縄春季キャンプについて

①【沖縄春季キャンプ概況】

- 沖縄は年間を通して比較的暖かく、受入環境が整っている
- 毎年多くのプロ野球球団が春季キャンプ実施している（2016年春日韓15球団／日本9球団、韓国6球団）
- 球団が集積していることで練習試合等のマッチングがしやすい環境である
- 春季キャンプは好きな球団や選手を間近で観ることができる特別な時期である
- 離島のキャンプは、練習試合の相手が課題だが、2016年春は石垣島で千葉ロッテマリーンズと台湾プロ野球球団ラミゴモンキーズが交流試合を行い、台湾から石垣島への誘客、国際交流等に貢献した。

②【2016年に見る沖縄春季キャンプ経済効果】

〔調査レポート〕沖縄県内における2016年プロ野球春季キャンプの経済効果は過去最高となる100億400万円（2016年6月りゅうぎん総合研究所「沖縄県内における2016年プロ野球春季キャンプの経済効果」より転載）

〔要旨〕

- 2016年の沖縄県内におけるプロ野球春季キャンプの経済効果は100億400万円となり、2014年の88億8,000万円を上回り過去最高となった。
- 観客数は、約33万2,000人で過去最高となり、入域観光客数が好調に推移する中、新監督や注目選手が多数キャンプ入りしたことなどで観客数が増え、前年より約2万500人増加した。
- 観客数のうち県外からの観客は約6万6,000人と推測され前年より約1万2,000人増加した。
- 今年の経済効果は、2軍キャンプの1球団減少や、施設等整備費などの減少があったが、前年に引続き県外からの観客の大幅増による宿泊費や飲食費の増加、土産・グッズ購入費の増加などが底上げし、過去最高となった。
- また、今年の経済効果を産業別に多い方からみると、宿泊業17億8,200万円、飲食サービス（飲食店など）が12億1,300万円、商業が11億8,800万円などの順であった。
- 今年の経済効果を球団別にみると阪神タイガースが34億7,900万円と最も多く、次いで読売ジャイアンツが15億7,300万円であった。
- プロバスケットボールやプロサッカーをはじめ、多くのスポーツコンベンションの推進による地域振興は今後も沖縄経済に好影響を与えることが期待できるため、老朽化した施設や、駐車場や宿泊施設などの周辺施設の整備や更新が重要な課題であり、それらが充実することが、よりスポーツビジネス産業の発展に寄与していくものと考えられる。

（図表5）プロ野球春季キャンプの経済効果と観客数の推移



※（ ）内は沖縄県内でキャンプを実施する国内プロ野球の球団数

※出典：りゅうぎん総合研究所 調査レポート (<http://www.ryugin-ri.co.jp/tyousareport/2595.html>)

③【2017年春季プロ野球沖縄キャンプの見所】

- 3月の第4回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）開催を控え、各チームの沖縄キャンプには日本・韓国から代表選手が多数集結する見込み。
- 沖縄セルラースタジアム那覇（那覇市）で、以下の練習試合が予定されている
 - ・2月19日（日）WBC韓国代表 vs. 読売ジャイアンツ
 - ・2月22日（水）WBC韓国代表 vs. 横浜DeNAベイスターズ
- 沖縄県内オープン戦
 - ・2月25日（土）4試合、2月26日（日）に3試合を予定